

令和8年熊本地震に係る被災地支援の状況について（第15報）

本日（8月14日16時現在）の主な動き

1. 徳島県の体制

- 7月28日 情報収集体制（16時27分設置）
30日 「令和8年熊本地震支援本部」設置（16時設置）
「令和8年熊本地震に関する徳島県・市町村連絡本部」設置（18時設置）

2. 人的支援

（1）現地リエゾン

- 7月29日 県職員3名派遣（第1陣）
31日 県職員3名派遣（第2陣）
8月4日 県職員3名派遣（第3陣）
8日 県職員3名派遣（第4陣）
12日 県職員3名派遣（第5陣）

（2）DMAT コーディネーションチーム

- 7月29日 県立中央病院1名（看護師）、県立海部病院1名（看護師）派遣
30日 ホウエツ病院1名（業務調整員）派遣

（3）DMAT（災害派遣医療チーム）

- 7月30日 徳島大学病院7名（医師3名、看護師2名、業務調整員2名）
県立中央病院5名（医師1名、看護師2名、業務調整員2名）
県立三好病院4名（医師1名、看護師2名、業務調整員1名）
県立海部病院5名（医師1名、看護師2名、補助要員2名）
ホウエツ病院4名（医師1名、看護師2名、業務調整員1名）
徳島赤十字病院5名（医師1名、看護師2名、業務調整員2名）
徳島県鳴門病院5名（医師1名、看護師2名、業務調整員2名）
吉野川医療センター5名（医師1名、看護師2名、業務調整員2名）派遣
8月1日 徳島市民病院5名（医師1名、看護師1名、業務調整員3名）
徳島県鳴門病院4名（医師1名、看護師2名、業務調整員1名）
阿南医療センター4名（医師1名、看護師1名、業務調整員2名）派遣
2日 県立三好病院及び海陽町立海南病院合同チーム4名
（医師1名、看護師2名、業務調整員1名）派遣

（4）避難所支援チーム

- 7月31日 県職員5名を宇土市に派遣（第1陣）
8月4日 県職員5名を宇土市に派遣（第2陣）
8日 県職員3名、阿波市職員1名、北島町職員1名を宇土市に派遣（第3陣）
12日 県職員3名、美馬市職員1名、勝浦町職員1名を宇土市に派遣（第4陣）

（5）徳島県警

- 7月31日 広域緊急援助隊交通部隊9名、被災者支援部隊6名派遣
8月1日 特別自動車警ら部隊4名派遣
10日 特別犯罪抑止部隊4名派遣

（6）保健師等チーム

- 8月3日 県職員3名（保健師2名、事務1名）派遣（第1班）
6日 県職員3名（保健師2名、事務1名）派遣（第2班）
9日 県職員3名（保健師1名、管理栄養士1名、事務1名）派遣（第3班）
12日 県職員3名（保健師1名、管理栄養士1名、事務1名）派遣（第4班）

（7）被災建築物応急危険度判定士チーム

- 8月7日 県職員2名（被災建築物応急危険度判定士）派遣（第1陣）

（8）災害ボランティア

8月9日 徳島県災害ボランティア隊23名（県民ボランティア20名、
徳島県社会福祉協議会職員1名、県職員2名）派遣

3. 物的支援

(1) 支援物資

7月29日 県がマスク、弾性ストッキング提供（トイレカーに帯同）
31日 県と5市町が「水循環システム WOTA BOX」を8台提供
（美馬市、松茂町、板野町、つるぎ町、東みよし町）
8月4日 阿波銀行と7市町が「水循環システム WOTA BOX」を8台提供
（阿南市、阿波市、神山町、那賀町、美波町、北島町、上板町）

(2) トイレ支援

7月29日 県が大型トイレカー1台を氷川町に派遣

(3) 給水支援

7月30日 徳島市が熊本市に給水車1台、サポートカー1台及び市職員4名派遣（第1陣）
8月2日 徳島市・小松島市が熊本市に給水車1台、市職員3名派遣（第2陣）
4日 小松島市が市職員2名交替派遣
5日 徳島市が市職員3名交替派遣
7日 小松島市が市職員2名交替派遣
8日 徳島市が市職員3名交代派遣
9日 鳴門市が市職員2名交代派遣
11日 徳島市が市職員3名交替派遣、阿南市が市職員2名交替派遣
13日 三好市が市職員3名交替派遣
14日 徳島市が市職員3名交替派遣

4. 被災者受入支援

(1) 住宅支援

8月5日 県内への避難者に対する県営住宅等99戸の申込受付開始

(2) 生活支援

8月5日 県内への避難者に対する生活支援給付金の受付開始

5. その他支援

(1) 義援金

7月30日 県庁をはじめ、県内6か所に募金箱を設置
8月3日 阿波銀行と徳島大正銀行の協力の下、振込受付を開始